

令和４年度デジタル田園都市国家構想交付金活用事業について

資料 4
※交付額は四捨五入

NO	種別		事業名	区分	事業期間	事業概要	交付額 (千円)	各KPI	4年度目標	4年度実績	達成割合	
1	市	推 進	まちなか活性化事業	継続 (延長)	R1～R5	既存事業者への支援、創業支援などにより、空き家店舗対策を進めまちの新陳代謝を促進し、雇用増加と新たな仕事の増加を目指す。	20,502	①まちなかの新規出店者数(件)	10	10	100%	
					②商店街の歩行者数(人)	1,550		684	44%			
③新規創業者数（継業者含む）		54	26	48%								
④売上拡大事業者割合(%)		73	40	55%								
R4 事業 内容		・まちなか支援員を配置し、まちなかでの新規出店希望者を支援した。 ・賑わいプロデューサーを配置し、賑わい創出イベントとしてひみ番屋街と連携したイベントや湊川周辺でのイベントを実施した。 ・チャレンジショップ「break」を運営し、入居者の新規出店に向けたファンづくりを支援した。 ・氷見市ビジネスサポートセンターを運営し、市内事業者の新商品開発や販路開拓等の売上向上につながる支援を実施した。 ・Himi-bizセミナーや創業塾などの講座を定期的に実施し、市内事業者・創業者・継業者への支援を行った。 ・新商品開発や販路開拓、Web（SNS）マーケティング等を複合的に推進する事業者に必要な経費を支援した。										
2		推 進	氷見のブランド再構築を通じた交流・関係人口拡大プロジェクト	継続 (延長)	R2～R6	本市の豊かな食の魅力を生かし、交流・関係人口の拡大を図り、地域の活力を高めるような仕組みをALL氷見で構築する。	11,320	①観光入込客数（人）	2,330,000	1,900,000	82%	
					②観光消費額（千円）	15,005,000		19,100,000	127%			
③氷見キトキトファンクラブ登録者数（人）		1,500	1,299	87%								
④氷見市プロモーション拠点として設ける「関係店舗（ツナグ場）」で開催する企画（プロモーション）等の訪問人数（人）		1,200	2,636	220%								
R4 事業 内容		・首都圏で氷見産食材を使ったメニューを提供する「ひみめしフェア」の開催、氷見の食の魅力等を紹介する冊子の作成、ひみ食彩まつりで氷見の食文化の一つである昆布メ体験ができるブースの出店やステージイベント等を実施した。 ・「関係店舗（ツナグ場）」を14店舗登録し、昆布メをテーマとした「第2回ひみ昆布メサミットin首都圏」を開催した。 ・市外在住のファンクラブ会員に、情報発信（メルマガ配信）したほか、市内での体験イベント（ふるさと体験）、神戸と東京でファン同士の交流イベント（ファンミーティング）で実施した。 ・氷見市と交流のある川崎市や横浜市等の中学生を対象に、氷見での様々な体験メニューを盛り込んだ「氷見スタディツアー」を実施した。										
3		推 進	観光×生物多様性保全を目的とした「ひみ発アクアツーリズム」検討プロジェクト	継続	R3～R5	「氷見の持続可能な定置網漁業」や「イタセンパラ」など特色ある地域資源を活用したアクアツーリズム（川辺や水辺を観光資源とする）や地域資源の保全に取り組む。	3,684	①平均滞在時間(分)	3時間31分	3時間3分	86.7%	
					②里山里海における新規イベント数・ツアー数(件)	10		5	50%			
③ひみラボ水族館来館者数(人)		8,200	10,835	132%								
④アクアツーリズムツアーへの参加者数(人)		-	-	-								
R4 事業 内容		・イタセンパラアクアツーリズムの実現のため、大学の先生監修のもと、パンフレットを改訂し、観光コースをひみラボ水族館、イタセンパラ保護池、上久津呂地区および十二町潟水郷公園とし、モニターツアーを実施した。 ・生物多様性や里山里海保全にかかる体験型イベント、ツアー型イベントなどを実施する個人や団体の事業費の一部を補助した。 ・SDGsの観点を盛り込んだ「親子イタセンパラ教室」、「親子とんぼ教室」、市内小学校や県民を対象とした「河川学習」を開催した。また、水族館では市内の淡水魚を展示し、河川の安全教育（ライフジャケット講座）も開催した。 ・特設ホームページの管理を行い、定置網漁業、イタセンパラをはじめとした地域資源、氷見の生物多様性などについて情報発信を行った。また、日本農業遺産に認定された定置網漁業についてのパンフレットを作成し、市内の小学校に配布した。										
4		推 進	拠点整備	ひみ自然体験・子ども「遊」発型働き方改革推進拠点整備計画	終了	R1	氷見市海浜植物園を改修し、テレワーク導入支援やリカレント研修のための施設と、子どもの遊び場が共存する環境を整備する。	261,770 (R1整備費)	①事業を通じた施設への来訪者数（人）	60,000	87,172	145%
						②事業を通じた女性の就職、創業者数（人）	31		0	0%		
③事業を通じたセミナー、リカレント教育等プログラムの女性受講者数（人）	2,100	351	17%									
R4 事業 内容	（運営事業について） ・指定管理者により、植物に関する知識の普及並びに社会教育、環境保全及び自然保護の推進に関する展示などを行った。 ・地域おこし協力隊及び地域活性化起業人と連携し、専門人材によるキャリアプランを考える講座や、市内起業家などを講師に招いた「参加しやすさ重視」のイベントを行った。さらに、スマートフォンを活用したデザインや写真撮影技術等、在宅での学び直しにつながるような講座にも取り組んだ。											

5	広域推進	A L L とやま農林水産業の成長産業化プロジェクト※	継続 (延長)	R2～R6	富山らしい特色のある地域資源を生かした農林水産業の発展をめざし、魅力発信や販路拡大、生産技術の検証等に取り組む。	674	①農業産出額（億円）	675	545 (R3)	81%
							②県産代表 6 魚種及び栽培漁業対象種の産出額（税抜）（億円）	48.37	35.06 (R3)	72%
							③輸出に取り組む事業者数（人）	49	61	124%
							④県産材素材生産量千㎡	132,000	118,000	89%
6		多様な産業・人材の参画による地域全体が潤う「稼げる」観光地づくり推進事業※	継続	R3～R5	富山ならではの観光資源の魅力や強みを活かし、「選ばれ続ける観光地」としての魅力を磨き上げ、観光交流の促進等による県内経済の活性化を目指す。	726	①観光消費額単価（宿泊・日帰り）（円/人回）	9,360	10,838	116%
							②観光入込客数（実数）（千人）	11,104	13,926	125%
							③日本橋とやま館来館者のうち観光交流サロンでのコンシェルジュ対応者数(人)	30,000	14,992	50%
							④県立美術館等の年間来館者(人)	470,000	759,257	162%
7		開疎な脱炭素コミュニティ構築プロジェクト※	新規	R4～R6	自然的・社会的特性を活かし、脱炭素社会で生き残り選ばれる開疎な脱炭素コミュニティの形成を目指す。	18	①エネルギー消費量の2013年度比の削減率(%)	7.8 (R3)	15.8 (R3)	49%
							②県内市町村での地球温暖化対策推進法実行計画（区域施策編）の策定率(%)	40	53.3	133%
							③一般廃棄物循環利用率(%)	26.4	25.2 (R3)	95%
							④北東アジア地域の中高生を対象とした、環境保全に取り組む人材を育成する事業の参加人数(人)	919	946	103%

※ 広域事業のKPIは県全体の目標として設定されているもの